

建築学科			測量学				
学年	第5学年	担当教員名	加藤雅也，白木紘一				
単位数・期間		1単位	前期	週当りの開講回数	1回	選択	履修単位
授業の目標と概要		建築技術者として必要な測量の基礎的知識を身につけ，それを応用する能力を身につける．					
		釧路高専目標	C:10%,D:90%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		各種測量の理論と機器の操作方法，誤差の扱いなどについて講義する． また，少人数のグループに分かれて実習を行う．実習は，作業に適した服装で行うこと．					
到達目標		測量の基礎知識と機器の操作方法，誤差の評価・調整方法を身につけている． 水準測量，トラバース測量，平板測量ができる．					
成績評価方法		合否：実習課題（60点）＋期末試験（40点）で，総合60点以上を合格とする． 評価：合格者に対しては，上記点数に授業態度点（＋10点～-10点）を加算する．授業態度の評価は，実習時の取り組み等を総合的に評価する．					
テキスト・参考書		テキスト：基本測量（実教出版） 参考書：新版測量の基礎知識（市ヶ谷出版社） 新版三角・多角・水準測量（市ヶ谷出版社） 新版地形・写真・応用測量／地図編集（市ヶ谷出版社） 測量のための基礎数字（実教出版）					
メッセージ		精度の高い測量結果を得るためには，測量機器の正しい扱い方や実技に関する工夫の積み重ねが大切です．					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
1.ガイダンス(0.5回) 2.水準測量(2.5回) 3.トラバース測量(4回)				測量の意義や基本事項を説明できる． レベルを設置し，基本的な操作ができる． 水準測量で標高差を求める事ができる． トランシットを設置し，基本的な操作ができる． 角・距離を測定し，閉合トラバース測量ができる．			
前期中間試験				実施しない			
4.トラバース測量(3回) 5.測量誤差(1回) 6.平板測量(4回)				角・距離を測定し，閉合トラバース測量ができる． 水準測量や閉合トラバースの誤差の計算ができる． 放射法を用い，小地域の平板測量ができる．			
前期期末試験				実施する			
後期中間試験							
後期期末試験							